



---

第95期 ミニディスクロージャー

---

# 営業のご報告

---

平成17年4月1日—平成18年3月31日

---



## CONTENTS

---

ごあいさつ	3
経営理念 長期経営計画	4
営業の概況	5
業績ハイライト	6
自己資本比率について	8
金融再生法開示債権	9
地域密着型金融を積極的に推進します	10
地域への貢献	11
お知らせ	15
連結貸借対照表	16
連結損益計算書	16
連結剰余金計算書	16
貸借対照表	17
損益計算書	17
利益処分計算書	17
株式会社のご案内	18
役員	18
店舗のご案内	19
店舗外ATMのご案内	20

---

## 当行の概要

---

設立年月日 昭和19年10月1日

資本金 80億円

本店 富山市総曲輪二丁目2番8号

店舗数 69店

従業員数 753名

(平成18年3月31日現在)

---



取締役頭取

西田 重雄

皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに当行第95期の営業の概況と決算の状況につきましてご報告申し上げます。

平成17年度の日本経済は、企業業績が着実に回復し、設備投資拡大の動きも大企業から中小企業に波及してまいりました。加えて、雇用情勢の改善から、個人消費も上昇に転じるなど着実に回復を続け、戦後最長の「いざなぎ景気」を更新する勢いとなっております。

しかし、原油価格の高騰は企業収益への悪影響や消費者物価の上昇を招く懸念があり、慎重に見極める局面に差し掛かっております。

金融情勢を見ますと、「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」や、平成19年3月期から適用されるバーゼルⅡ（新BIS規制）への対応が求められております。さらに、望ましい金融システムを「官」の主導ではなく「民」の力により実現することを目指して平成17年7月に「金融検査評定制度」が定められ、自己評定が求められることになりました。

金融政策面では、景気の持続的な回復を背景に、日銀は本年3月9日に15年余り続いた量的金融緩和政策を解除いたしました。

このような金融経済環境のなかで、当行はお客さまの多様化・高度化するニーズへの対応や、利便性向上に向けた体制の整備に努め、平成17年4月に「資産運用プラザ」を開設、また、北國、福井両行との業務提携により昨年11月の「ビジネス商談会」の共同開催やATMの相互無料開放等を行ってまいりました。これからも、多様で良質な金融商品・サービスの提供に努め、地域経済の活性化、地域社会の発展に寄与してまいります所存でございます。

今後とも何卒一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成18年6月

# 経営理念・長期経営計画

## 経営理念



第10次長期経営計画 [平成17年4月～平成20年3月]

## 「改革と挑戦」 Revolution & Challenge — 新アクションプログラムとの融合

目標

**拡大均衡へのフェーズ転換と金融サービス業への進化により、収益力の向上と成長性を追求する**

金融サービスを通じた地域貢献の充実 健全性の確保と収益力の向上 経営力の強化による揺るぎない経営基盤の確立

「4つの改革」の断行 [経営改革・業務改革・組織改革・意識改革]

拡大均衡への転換

具体的施策

### 地域への貢献

- ・健全性の確保
- ・地域経済への信用供与
- ・お客さま満足度の向上追求
- ・事業再生の取組強化
- ・創業、新事業支援への取組
- ・地域振興への貢献

### 収益力の強化

- ・事業性融資
- ・個人ローン
- ・地公体融資
- ・貸出金利息の増加
- ・役務収益の増加
- ・ストラテジックソーシング (調達慣習の見直し)

### 経営力の強化

- ・リスク管理態勢
- ・コンプライアンス態勢
- ・監査機能の強化

### 数値目標

コア業務純益	85億円
コアOHR	57%台
自己資本比率	10.8%
不良債権比率(金融再生法)	3.6%台

# 営業の概況

## 企業集団の主要な事業内容

当行グループは、当行、子会社及び子法人等5社で構成され、銀行業務を中心にリース業務等の金融サービスに係る事業を行っております。

### 〔銀行業〕

当行の本店、支店、出張所69か店において、預金業務、貸出業務、為替業務、各種金融商品販売等を行い、地域に密着した営業活動に積極的に取り組んでおり、グループの中心と位置づけております。

また、富山ファースト・ビジネス(株)において、銀行事務代行業務等

を行っております。

### 〔リース業〕

富山ファースト・リース(株)及び富山ファースト機販(株)において、各種のリース業務を行っております。

### 〔その他事業〕

富山ファースト・ディーシー(株)において、クレジットカード業務を行っております。また、(株)富山ファイナンスにおいて、信用保証業務等を行っております。

## 企業集団の営業の経過及び成果

譲渡性預金を含めた預金等につきましては、低金利が続くなか、お客さまへのサービス向上を旨として営業基盤の拡充に努めましたが、個人国債等一部金融商品にシフトしたこと等により当期中に210億円減少し、当期末残高は8,568億円となりました。

貸出金につきましては、個人向け住宅資金、地方公共団体ならびに地元中堅・中小企業を中心とした資金需要に積極的に応えてまいりました結果、当期中に110億円増加し、当期末残高は6,593億円となりました。

有価証券につきましては、有効運用に努めましたが、当期中に168億円減少し当期末残高は2,665億円となりました。

損益状況につきましては、連結経常収益は、有価証券利息配当金は増加いたしました。金利低下による貸出金利息の減少分をカバーし切れなかったことから資金運用収益は減少しましたが、役務取引等収益などの増加により、前期比4億31百万円増加し267億17百万円となりました。一方、連結経常費用は、資金調達費用が若干増加しましたが、不良債権処理額の減少等により前期比1億52百万円減少し219億15百万円となりました。この結果、連結経常利益は前期比5億83百万円増加し48億1百万円となりました。

以上の結果、連結当期純利益は前期比1億96百万円増加し17億71百万円となりました。

## 対処すべき課題

金融庁は、平成17年3月29日に、平成16年末に公表した金融行政の指針である『金融改革プログラム』に基づいた「工程表」と平成17年度・18年度の2年間を「重点強化期間」とする地域金融機関の「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」を公表しました。このプログラムは、多様な金融商品やサービスを国民が身近に利用できる「金融サービス立国」を「民」の力で目指していくというものであり、事業再生・中小企業金融の円滑化、経営力の強化、地域の利用者の利便性向上といった地域密着型金融の一層の推進が求められております。

当行は、これまで業種別審査態勢の導入や外部機関との連携により中小企業の事業再生や創業支援等を行ってまいりましたが、より一層機能強化に向けて取り組んでまいります。また、平成17年3月に発足した「ファーストバンク・ビジネスクラブ」を活用した事業支援につきましても、平成17年11月に北國銀行、福井銀行と3行合同の「ビジネス商談会」を開催し好評を得ましたが、今後も各方面で積極的に取り組んでまいります。経営力の強化につきましても、これまで、最重要課題として取り組んでまいりましたが、さらなる収益管理態勢の整備と収益力の向上に努めるとともに、リスク管理態勢の充実、ガバナンスの強化およびコンプライアンス態勢の強化を図り一層の経営力の強化に努めてまいります。なかでも、「個人情報保護法」の全面施行に伴う個人情報保護がコンプライアンスにおける主要課題のひとつであるとの認識の下、一層の管理態勢の強化を図ってまいります。

また、近年、有価証券報告書における証券取引法上の開示内容などに不適正な事例が相次いで発生したことから、ディスクロージャーの信頼性を確保するため、開示企業における内部統制を充実し、経営者

に有価証券報告書の開示が適切である旨の宣誓が義務付けられるとともに、財務報告に係る内部統制の有効性を評価した内部統制報告書の作成が義務付けられ、将来的には公認会計士などによる監査を受けることとされたことから、対応に向けた早急な取組みが重要となってまいりました。

さらに、バーゼルⅡ（新BIS規制）の適用が平成19年3月末からスタートします。金融業務のリスクの高度化・複雑化で従来の自己資本比率規制に加え、より総合的な観点での健全性確保が必要になったことから、各種リスクを把握した上で、経営に必要な自己資本額を検討する「自己管理型のリスク管理」が求められ、これへの対応も喫緊の課題となっております。

地域の利用者の利便性向上につきましても、多様化・高度化するお客さまのニーズに対応すべく平成17年4月に「ファーストバンク資産運用プラザ」を開設し、お客さまの幅広いご要望にお応えできる態勢を整えましたが、機能を一層充実し利便性向上に努めてまいります。

また、地域の皆さまに対しまして、これらの取組状況をディスクロージャー誌、マスコミ、ホームページ等を活用して積極的に開示できる態勢を整備してまいります。

当行では、平成17年度をスタートに向こう3年間を展望した第10次長期経営計画を策定しました。『改革と挑戦』を主題とし「地域への貢献」、「経営力の強化」、「収益力の強化」の3本柱を基本方針とし、地域のお客さまに一層満足いただける銀行に変貌し、更なる体質強化、収益力強化を目指して、その着実な実行に当行グループは一丸となって取り組んでまいります。

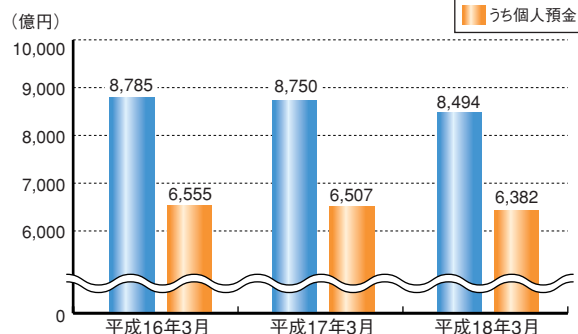
# 業績ハイライト

## 預金残高について

超低金利が続く環境の中で、より一層地域に密着した営業活動を展開し、お客さまへのサービス向上を旨として営業基盤の拡充に努めました。個人国債等一部金融商品にシフトしたこと等により、平成18年3月末残高は前年同期比256億円減少し8,494億円となりました。

同様に個人預金は前年同期比125億円減少し6,382億円となりました。

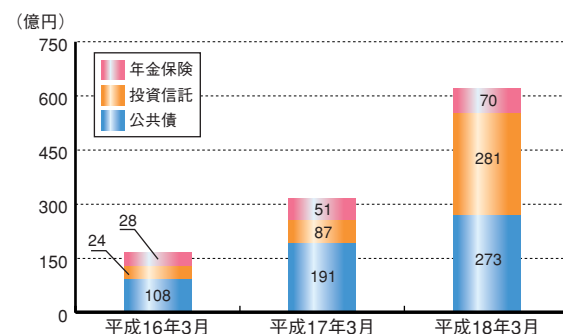
【預金残高の推移】



## 個人預り資産の推移

超低金利が長期化する中、お客さまの多様化する資産運用ニーズにお応えするため、年金保険、投資信託、公共債等の窓口販売を積極的に推進して預り資産の増強を図りました。結果、残高は624億円となりました。

【個人預り資産残高の推移】

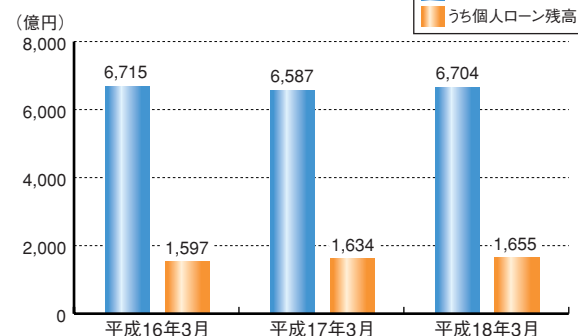


## 貸出金残高について

貸出金につきましては、個人向け住宅資金、地方公共団体ならびに地元中堅・中小企業を中心とした資金需要に積極的にお応えしてまいりました。結果、平成18年3月末残高は前年同期比116億円増加し6,704億円となりました。

また、個人ローンは住宅資金などの資金需要に積極的にお応えしました。結果、平成18年3月末残高は前年同期比20億円増加し1,655億円となりました。

【貸出金残高の推移】



# 業績ハイライト

## 業務粗利益

資金運用収支は、貸出金利低下等により前年同期比4億27百万円減少いたしました。役務取引等収支が金融商品販売の拡大等により前年同期比4億円増加いたしました。また、その他業務収支が債券売却損の増加により前年同期比3億6百万円減少したことにより、業務粗利益は前年同期比3億34百万円減少し187億70百万円となりました。

## コア業務純益

銀行は、一般事業会社と異なる収支構造を持っているため業績を示す指標の一つに業務純益があります。

また、より銀行本業部分での業績を示す指標にコア業務純益がありますが、当期は過去最高の75億77百万円となりました。

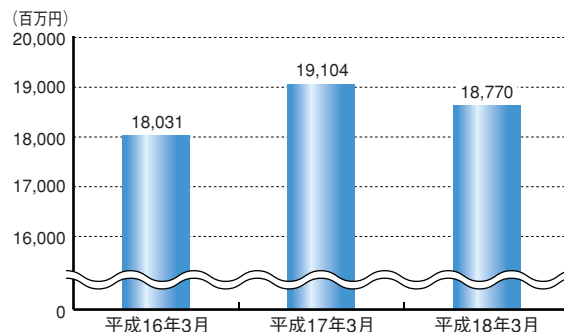
- ・業務純益＝業務粗利益(資金運用収支＋役務取引等収支＋その他業務収支)－経費(除く臨時処理分)－一般貸倒引当金繰入額
- ・コア業務純益＝業務純益－国債等債券関係損益＋一般貸倒引当金繰入額

## 経常利益・当期純利益

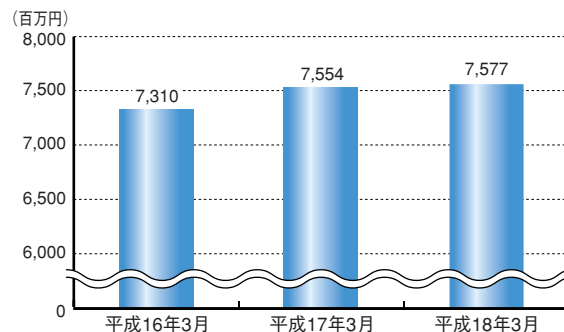
経常収益は、貸出金利息が金利低下等により減少したことを主因に資金利益は減少いたしました。役務収益や債券売却益等の増加が寄与したことにより、前年同期比3億26百万円増加し220億87百万円となりました。一方、経常費用は、債券売却損が増加したものの不良債権処理の減少や経費の削減に努めました結果、前年同期比3億22百万円減少し176億52百万円となりました。この結果、経常利益は前年同期比6億47百万円増加し44億34百万円となりました。

以上の結果、当期純利益は、前年同期比1億96百万円増加し17億50百万円となりました。

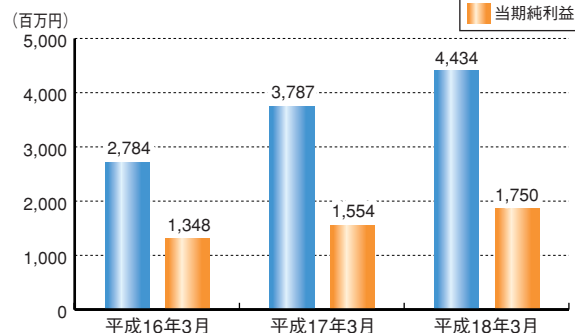
【業務粗利益の推移】



【コア業務純益の推移】



【経常利益・当期純利益の推移】



# 自己資本比率について

## 自己資本比率は健全基準を大幅にクリアする10.49%

自己資本比率は銀行の健全性を見る上での重要な指標の一つですが、当行の自己資本比率は10.49%と国内基準で求められている4%を大幅に上回っています。また、基本的項目（本来の自己資本）で算出したTier I 比率でも9.57%と国内基準の2倍以上の高い水準で推移しています。さらに子会社5社を含めた連結自己資本比率は10.95%と一層安定した水準を維持しております。今後も引き続き良質な資産の積み上げを図るとともに、内部留保の拡充により自己資本比率の一層の向上に努めてまいります。

## Tier I に占める繰延税金資産について

企業会計上の損益と税法上の所得の相違を調整する税効果会計を適用した結果、将来の税金費用を当期で負担したこととし、前払で支払ったものとして資産計上したものが繰延税金資産です。近年、銀行の繰延税金資産は、不良債権処理が加速されたこと等から増加しており、その脆弱性から自己資本額に占める割合等が問題となっております。

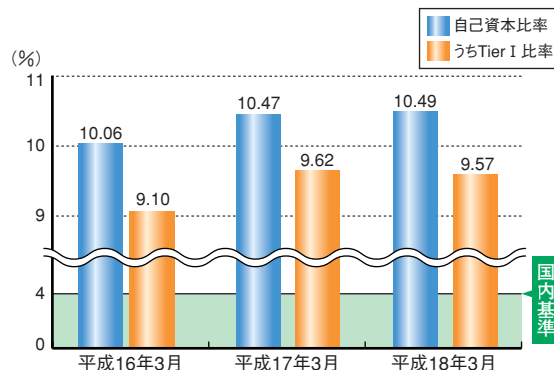
当行の平成18年3月末の繰延税金資産計上額は2億75百万円でTier I に占める割合は0.52%と大変低い水準です。

### [Tier I に占める繰延税金資産の割合]

(単位：百万円)

	平成16年3月	平成17年3月	平成18年3月
Tier I (A)	49,834	51,096	52,394
繰延税金資産(B)	5,065	2,866	275
(B) ÷ (A) × 100	10.16%	5.60%	0.52%

### [自己資本比率の推移(単体)]

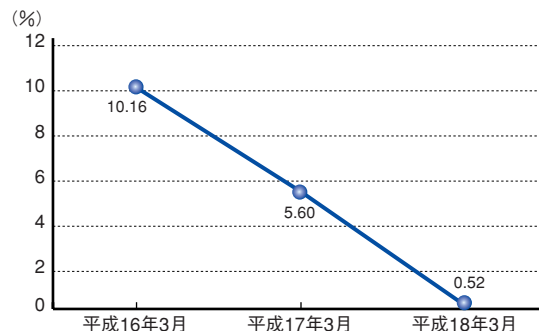


自己資本比率＝

$$\frac{\text{Tier I (基本的項目)} + \text{Tier II (補完的項目)}}{\text{リスクアセット}} \times 100$$

- ・ Tier I (基本的項目)＝本来の自己資本のことで、資本金・資本剰余金・利益剰余金等の合計
- ・ Tier II (補完的項目)＝土地の含み益、一般貸倒引当金等
- ・ リスクアセット＝リスクの度合いに応じて調整した総資産

### [Tier I に占める繰延税金資産の比率推移]



# 金融再生法開示債権

## 資産内容の一層の健全化に努めています。

当行では、資産の健全性をより促進するために毎期厳格な自己査定を行い、適切な償却・引当を行うことに加え、お取引先に対する経営支援を強化し、債権内容の良化に努めています。

一定額以上の大口債務者について個社別に経営改善計画等に基づく今後の業績予想等により、将来のキャッシュフローを見積もり、引当金を計上するキャッシュフロー見積法を採用しております。

## 「富山企業再生ファンド」について

当行では、過剰債務への抜本的な対策や事業のリスクトラクチャリングを必要としているお取引先に対して、高度な再生ノウハウを持つファンド運営会社である(株)ジェイ・ウィル・パートナーズが経営指導を行う「富山企業再生ファンド」を立ち上げました。

今後もお取引先の経営改善に積極的に取組み、地域経済の活性化に取り組んでまいります。

金融再生法開示債権とは、貸出金・支払承諾見返・外国為替・未収利息・仮払金を対象としています。

### ①破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、会社更生手続開始、再生手続開始の申し立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

### ②危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権です。

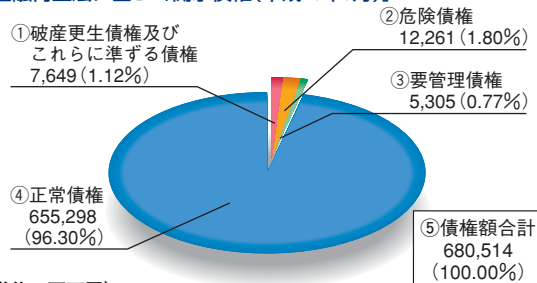
### ③要管理債権

3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権です。

### ④正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして上記①から③に掲げる債権以外のものに区分される債権です。

## 【金融再生法に基づく開示債権(平成18年3月)】



(単位:百万円)

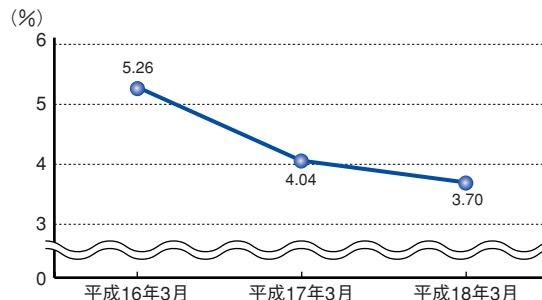
(%)は債権額合計に占める比率

## ●金融再生法に基づく開示債権

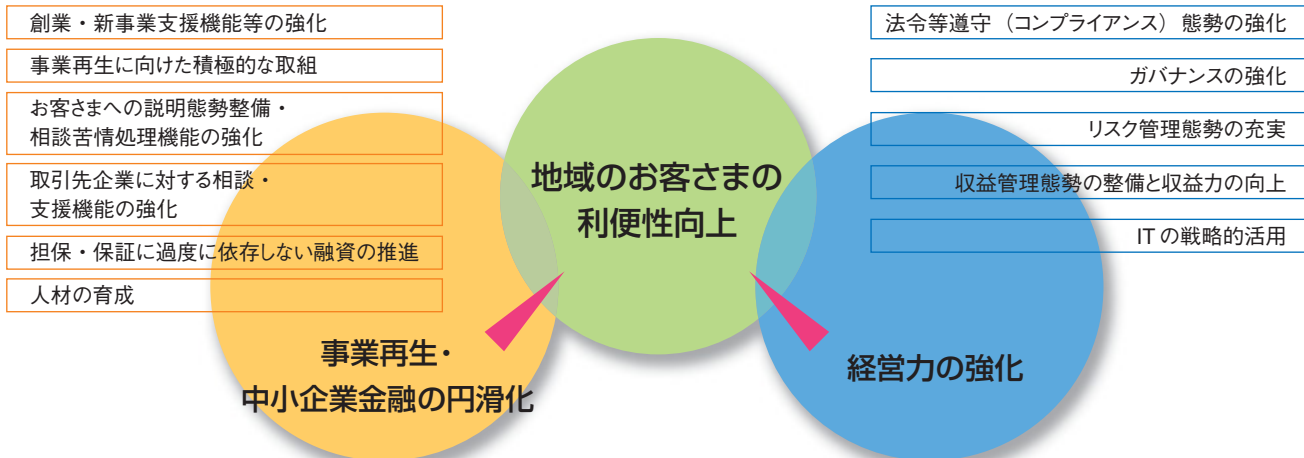
(単位:百万円)

	平成16年3月	平成17年3月	平成18年3月
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,576	10,291	7,649
危険債権	15,654	9,841	12,261
要管理債権	10,686	6,935	5,305
小計 (A)	35,917	27,069	25,216
正常債権	646,805	641,754	655,298
債権額合計 (B)	682,722	668,824	680,514
小計の債権額に占める割合 (A)/(B)	5.26%	4.04%	3.70%
保全額 (C)	32,650	25,233	23,309
貸倒引当金	9,476	7,949	9,112
担保・保証等	23,173	17,283	14,197
保全率 (C)/(A)	90.90%	93.21%	92.43%

## 【金融再生法開示債権比率】



## 地域密着型金融を積極的に推進します。



### 事業再生・中小企業金融の円滑化

- ・ **地域になくてはならないコミュニティバンク**  
金融サービス業に進化し、お客さま満足度の向上と当行の収益基盤強化を目指します
- ・ **確固たる顧客基盤の構築**  
お客さまの利便性と説明態勢・苦情相談処理機能の向上を目指します
- ・ **人材基盤の強化**  
新規・中途採用の積極化と研修体制の充実を目指します

### 経営力の強化

- ・ **リスク管理態勢の整備と財務の健全性の維持向上**  
お客さまに安心・安全なお取引を提供いたします
- ・ **リスク管理の高度化による相応のリスクテイクの実施**  
地域経済の活性化と自らの収益力の向上を目指します
- ・ **コーポレートガバナンスとコンプライアンス体制の充実**  
引続き経営の最重要課題として一層の充実を目指します

### 地域のお客さまの利便性向上

- ・ **限りなくクリア（透明）、サウンド（健全）、フェア（公平）**  
お客さまの目線に立って分かりやすい情報を発信いたします
- ・ **安心で安全な取引環境を提供**  
お客さまから選ばれる銀行を目指します
- ・ **地域と一体となった「まちづくり」**  
地域活性化に向けて、地方公共団体や商工団体等と連携した「まちづくり」を目指します

■ 地域密着型金融推進計画の詳細は、当行ホームページに掲載しております。 <http://www.first-bank.co.jp/>

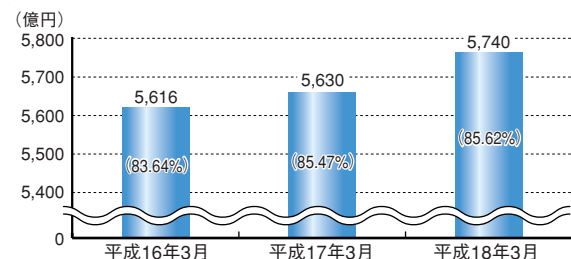
## 地域への貢献

### 富山県内向け貸出金の推移

当行は、地域経済の発展とともに歩む金融機関を目指し、地元富山県内における幅広い資金ニーズに積極的に応えております。平成18年3月末の富山県内向け貸出金残高は5,740億円、当行の貸出金全体に占める比率は85.62%となり、残高、シェアとも着実にアップしております。

#### 【富山県内向け貸出金の推移】

(グラフ内%は貸出金全体に占める比率)



### 中小企業の健全化に向けた取組み

中小企業の経営改善・再生に向けた取組みのため、「企業支援チーム」を編制し、中小企業診断士を配置して営業店と連携した企業支援体制の整備・強化を図り、取引先支援に積極的に取組んでおります。その結果、平成17年度中に40社の経営改善が図られました。

### 融資新商品

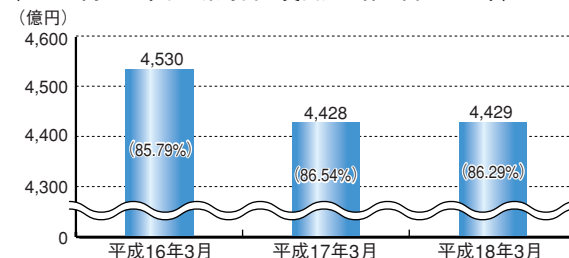
当行は、平成17年8月、担保・保証に過度に依存しない融資制度を創設し地域の中小企業金融円滑化・安定化に寄与するため、商工会議所及び商工会会員企業を対象とした「ファーストサポート（商工会議所メンバーズ融資）」及び「ファーストサポート（商工会メンバーズ融資）」の取扱いを開始致しました。多くのご利用をお待ちしております。

### 富山県内中小企業等向け貸出金の推移

平成18年3月末の中小企業等に対する貸出金のうち、地元富山県内の中小企業等への貸出金残高は4,429億円、中小企業等貸出金全体に占める比率は86.29%となりました。今後も地域金融機関として地域経済の発展とともに歩んでまいります。

#### 【富山県内中小企業等向け貸出金の推移】

(グラフ内%は中小企業等向け貸出金全体に占める比率)



#### 【経営改善支援の取組実績】

(平成17年4月～平成18年3月)

(単位：先数)

	経営改善支援取組 $\alpha$	改善先 が $\beta$	$\alpha$ の 債務 者 の 期 区 分 先 期 区 分 先 期 区 分 先	未 分 先 期 区 分 先 期 区 分 先
正常先	0			0
要 注 意 先	219		34	181
うち 要 管 理 先	14		5	9
破綻懸念先	10		1	9
実質破綻先	3		0	3
破綻先	0		0	0
合計	246		40	202

### CLO融資の取組み

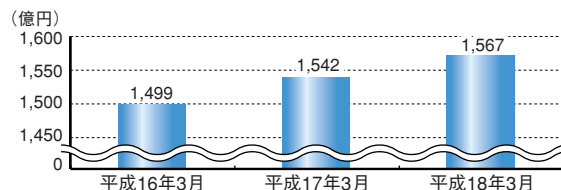
当行は、平成17年12月、地元中小企業の皆さまの成長支援を目的に、中小企業金融公庫の証券化支援業務スキームを活用した無担保・第三者保証なしのCLO（ローン担保証券）融資を実施致しました。今後も中小企業の皆さまのために多彩な資金調達手段の提供及び支援を行ってまいります。

## 地域への貢献

### 住宅ローンの推移

地域の個人のお客さまに対し、夢の実現とゆとりある生活をお手伝いするため住宅ローンを積極的に推進しています。平成18年3月末の住宅ローン貸出数は12,682件、貸出残高は1,567億円となりました。

【住宅ローン残高の推移】



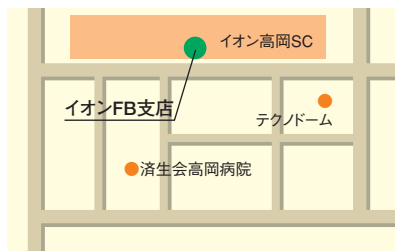
**住宅ローン相談所のご案内** ローン専用フリーダイヤル 0120-161665

■グリーンビル・ローンセンター支店  
TEL (076) 422-6100



平日 9時～19時  
土・日・祝日 10時～17時

■イオンFB支店  
TEL (0766) 27-1231



平日 9時～20時  
土・日・祝日 10時～17時

■魚津駅前支店  
TEL (0765) 24-4433



平日 9時～17時  
土・日・祝日 10時～16時

### 貸出運営方針

当行の社会的使命は、地域社会の発展に貢献することであり、お客さまの資金需要に対して積極的にお応えしております。とりわけ地域産業の担い手である中堅・中小企業や自営業者、個人の皆さまへのご融資に積極的に取組んでおります。

これからも、特定業種にかたよることなく安定的資金供給に努めてまいります。

### 地方公共団体との取引

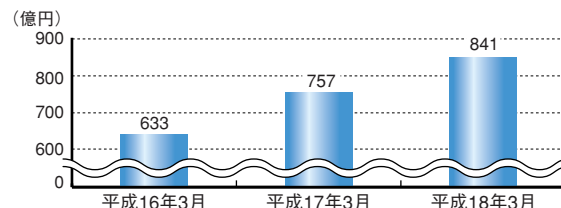
当行では、地方公共団体の資金需要に積極的にお応えしております。平成18年3月末における富山県及び富山県内市町村等への融資残高は841億円となりました。また、「とやま県民債」や「とやま市民債」の窓口販売等を通じて、地域社会の環境整備に協力しております。

【富山県内向け貸出金業種別内訳】

(単位：百万円)

	貸出金残高		
	平成17年3月	平成18年3月	前年同期比
製造業	87,536	88,824	1,288
卸売・小売業	59,429	61,627	2,198
建設業	45,737	43,305	-2,432
各種サービス業	76,407	75,400	-1,007
金融保険業	6,995	6,098	-897
不動産業	24,718	23,469	-1,249
地方公共団体	75,705	84,181	8,476
個人その他	186,552	191,151	4,599
合計	563,082	574,059	10,977

【富山県内地方公共団体等向け貸出金の推移】



## 地域への貢献

### 財団法人 富山第一銀行奨学財団による支援

(財)富山第一銀行奨学財団では、学術研究活動支援を目的として、各教育機関へ助成活動を行っております。

平成18年度は富山県内の大学3校をはじめ、短大、高等専門学校等の25研究機関に総額15,220千円の助成を決定いたしました。また、昭和34年の財団設立以来行っている学生への奨学金の給貸与は、平成18年度の2名を加え総数307名となりました。

		平成16年度	平成17年度	平成18年度
助成部門	助成先数	36機関	34	25
	助成金額	15,720千円	12,720	15,220
	奨学金	5,430千円	6,480	5,952
	金額計	21,150千円	19,200	21,172

### 小学生図画コンクールの開催

昭和38年以来、将来を担うこどもたちの健全な成長と一枚の図画を通して家族の絆を強めていただくことを目的に、毎年「小学生図画コンクール」を開催しております。(社)富山県教育会、(株)北日本新聞社、北日本放送(株)、(財)富山第一銀行奨学財団の協賛を得て、44回を数えました。今回は、県内外158校、6,287点の応募があり、平成18年3月19日盛大に表彰式・作品展示が行われました。



図画コンクール表彰式

### 公益信託「富山ファーストバンク社会福祉基金」の活動

普銀転換10周年事業として設立された公益信託富山ファーストバンク社会福祉基金では、平成12年の設立以来、住民参加型の社会福祉事業やボランティア活動等に助成しております。平成18年度までの助成金額合計は75団体、20,590千円となりました。

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
助成先数	12団体	7	11
助成金額	3,290千円	3,570	3,450

### 「産・学」連携による地域貢献

当行は、産学連携、教育研究、人材交流等を通じて活力ある地域経済の発展並びに地域社会への貢献を目的として、下記大学及び高等専門学校と包括連携協力を締結致しました。

- 平成17年12月 富山大学
- 平成18年2月 富山工業高等専門学校
- 平成18年2月 富山県立大学
- 平成18年3月 富山商船高等専門学校
- 平成18年4月 富山国際大学 (締結順)

### 富山県内の中小企業動向調査の実施

企業経営者の皆さまの経営管理にお役立ていただく資料として、昭和51年より四半期ごとに富山県内の中小企業を対象にアンケート調査を実施し、業種別企業動向を発表しております。同調査は、回答企業数(平成18年3月410社)も大規模となっており、好評をいただいております。



中小企業動向調査

## 地域への貢献

### FITネットサービス

「FIT」とは福井県(F)、石川県(I)、富山県(T)の頭文字を表しており、「FITネット」は当行、株式会社北國銀行、株式会社福井銀行の3行業務提携事業の総称です。



平成17年10月、3行のATMにおいて、出金における他行利用手数料の相互無料化サービスを開始し、さらに平成18年4月には3行のATMの相互無料入金サービスを実施し「FITネットATM」の機能拡充を図りました。

また、平成17年11月29日、石川県産業展示館4号館にて、3行共同主催の第1回FITネット商談会を開催致しました。当日は226社のブース展示を行い、来場者3,825名、商談数1,789件と北陸最大級の商談会となりました。第2回は平成18年10月3日に福井県にて開催予定です。



### インターネットバンキング開始

インターネットや携帯電話から、振込や残高照会など様々なサービスをご利用頂けます。

当行のインターネットバンキングサービスは、個人のお客さま向けのサービス「〈ファースト〉プライベートWeb」と、法人のお客さま向けのサービス「〈ファースト〉ビジネスWeb」がございます。どうぞご利用ください。



### ファーストバンク・ビジネスクラブの活動

ファーストバンク・ビジネスクラブでは、インターネットによる企業経営に関する情報提供・情報交換、企業経営にかかる媒体物の配布、交流会実施によるビジネスマッチング・各種セミナーの開催、経営相談・コンサルティング等の積極的な活動を行っています。平成18年5月24日、富山国際会議場においてファーストバンク・ビジネスクラブ主催の「ビジネス交流会2006」を開催致しました。県内外の企業や大学など232社・機関(76ブース)が参加し大好評を博しました。



### 多様化するニーズにお応えする資産運用プラザ

資産運用プラザは、お客さまの投資利便性の向上と多様化する資産運用ニーズにお応えするプラザです。

各種金融商品を取扱っておりますが、地域応援型のファンドである「富山応援ファンド」(愛称ニュー・ファースト)、「FITネット・三県応援ファンド」(愛称ベストフィット)、「富山応援ファンドPART2」(愛称ファースト5・5)は大変注目されております。



富山応援ファンドPART 2

### 資産運用プラザセミナー

経済や外国為替、くらしの税金、投資信託、外債、老後のお金、年金、退職金の運用などのテーマを用意しております。知りたいこと、聞いておきたいことをわかりやすくお話しします。お気軽にお越しください。



資産運用プラザセミナーの様子

# お知らせ

## 本人確認について

銀行取引を行うにあたり、お客さまの本人確認を行うことが「金融機関等による顧客等の本人確認等に関する法律」により義務づけられております。お取引の際には、公的証明書等が必要となりますのでご了承ください。

## 「振り込め詐欺」にご注意ください

振り込め詐欺が頻発しています。不審な請求があった場合は、ご家族や警察に相談して事実関係を確認した上で対処してください。

身に覚えのない返済請求などがあった場合も安易に振込等を行わないようご注意ください。不安な方は、最寄りの警察や消費者センターなどにご相談ください。

## ATMご利用に関するお知らせ

最近、キャッシュカードと運転免許証等が同時に盗まれ、暗証番号を生年月日等としていたためATMから現金が不正に引き出される被害が多発しております。今後もお客さまに安心してお取引していただくため、第三者から推測され易い暗証番号をご使用の場合は、暗証番号を変更してくださるようお願い致します。当行におけるこれまでのセキュリティ向上策の主なものは以下のとおりです。

- ・一日当たりご利用限度額を200万円に設定
- ・盗難・紛失届の24時間受付窓口の設置
- ・ATM後方確認ミラーの設置
- ・ATM異常取引検知システムの開始
- ・ホームページ上での暗証番号に関する注意喚起
- ・暗証番号変更依頼の郵送案内
- ・ATM画面の覗き見防止フィルターを設置

◎当行のATMでは暗証番号の変更が可能です。

## 偽造・盗難キャッシュカード被害に対する補償について

当行では、「偽造カード等及び盗難カード等を用いて行われる不正な機械式預貯金払戻し等からの預貯金者の保護等に関する法律」の施行に伴い、偽造・盗難キャッシュカード被害に対する補償を行っております。

- ・補償対象となるキャッシュカード 個人のお客さまのキャッシュカード
- ・補償の対象 偽造・変造、盗難キャッシュカードを使用した不正な引出し

◎詳しくは窓口へお問合せください。

富山第一銀行ヘルプデスク  
盗難・紛失等のトラブルはここにお電話を！  
フリーダイヤル 0120-552495  
TEL 076-433-7717

24時間  
対応！

## ペイオフについて

預金等の分類		平成17年4月から
決済用預金(注)	当座預金 無利息の普通預金等	全額保護
一般預金等	利息のつく普通預金、 定期預金、定期積金 ビック等	合算して元本1,000万円 までとその利息等を保護
外貨預金、ヒット等		保護対象外

(注) 「無利息・要求払い・決済サービスを提供できること」という3条件を満たすものです。  
・決済用預金(上記注)は全額保護されます。  
・保護されない預金等であっても、破綻した金融機関の財産の状況に応じて支払われます。  
(一部カットされる場合があります。)

## 個人情報の保護について(個人情報保護宣言 要約)

富山第一銀行は、お客さまの個人情報ならびに業務上の取引に関連して取得する個人情報について、下記の考え方・方針に基づき適正かつ厳格に取扱うことを宣言いたします。

1. 個人情報の取扱いに関し、「個人情報の保護に関する法律」および全国銀行協会制定自主ルール等を遵守いたします。
2. 個人情報の取得は適法かつ適正に行い、利用にあたってはその利用目的を特定し、利用目的の達成に必要な範囲において取り扱います。当行とご本人との間で契約を締結することに伴って、直接書面に記載されたご本人の個人情報を取得する場合には、その利用目的をご本人に明示いたします。取得した個人データは、ご本人の同意を得ている場合、法令に基づく場合等を除き、第三者に提供することはいたしません。
3. 取得した個人データを取扱う部店ごとに管理者を設置する等、組織的・人的・技術的な安全管理措置を講じます。また、取得した個人データを正確かつ最新の内容にするよう常に適切な措置を講じるよう努力いたします。
4. お客さまがご自身に関する個人データについて開示・訂正・利用停止等をご請求される場合は、当行本支店の窓口にお申し出下さい。
5. 当行の個人情報の取扱いおよび安全管理措置に関するご質問、苦情については、お取引しておられる支店窓口のほか、下記の相談窓口で受付いたします。

【個人情報の取扱いおよび安全管理措置に関する相談窓口】

〒930-8630 富山県富山市総曲輪2丁目2番8号  
株式会社富山第一銀行 営業企画部お客さま相談室  
076-424-1218 (受付時間：平日9時から17時)

6. 個人情報保護のための体制および取組みについては継続的に見直しを行い、その改善に努めます。

詳しくは当行ホームページ <http://www.first-bank.co.jp/> をご覧ください。

## 連結貸借対照表

(平成18年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額
<b>資産の部</b>	
現金預け	11,492
コールローン及び買入手形	15,676
買入金銭債権	454
商品有価証券	311
金銭の信託	300
有価証券	266,531
貸出	659,354
外国為替	1,978
その他資産	22,472
繰延税金資産	10,592
繰延税金負債	120
支払引当金	8,357
貸倒引当金	△11,820
資産の部合計	985,821
<b>負債の部</b>	
預渡性預金	849,120
繰渡性預金	7,750
コールマネー及び売渡手形	24,016
債券貸借取引受入担保	10,109
借入金	4,025
外国為替	1
その他負債	7,940
退職給付引当金	3,670
再評価に係る繰延税金負債	1,690
支払引当金	8,357
負債の部合計	916,682
<b>少数株主持分</b>	
少数株主持分	3,967
<b>資本の部</b>	
資本	8,000
資本剰余金	5,432
利益剰余金	39,504
土地再評価差額金	2,077
株式等評価差額金	10,307
自己株式	△150
資本の部合計	65,171
負債、少数株主持分及び資本の部合計	985,821

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結子会社の状況

会社名/本店所在地	業務内容	資本金	設立年月日
富山ファースト・ビジネス(株) 富山市奥田本町6番3号(富山ファナクスビル内)	現金などの精査・整理 労働者派遣事業等	百万円 10	昭和63年2月13日
富山ファースト・リース(株) 富山市掛尾町626番地(ファーストバンク・グリーンビル5F)	リース業務等	30	昭和59年12月1日
富山ファースト・ディーシー(株) 富山市掛尾町626番地(ファーストバンク・グリーンビル6F)	クレジットカード 信用保証業務等	20	昭和62年3月18日
富山ファースト機販(株) 富山市掛尾町626番地(ファーストバンク・グリーンビル5F)	リース業務等	10	平成元年11月28日
(株)富山ファイナンス 富山市掛尾町626番地(ファーストバンク・グリーンビル4F)	信用保証業務等	10	昭和29年10月5日

## 連結損益計算書

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで) (単位：百万円)

科目	金額
<b>経常収益</b>	
資金運用収益	18,419
貸出金利	12,568
有価証券利息配当金	5,675
コールローン利息及び買入手形利息	13
預け金利息	0
その他の受入利息	161
役員取引等収益	2,382
その他業務収益	5,468
その他経常収益	446
経常費用	21,915
資金調達費用	913
預渡性預金利息	612
譲渡性預金利息	10
コールマネー利息及び売渡手形利息	122
債券貸借取引支払利息	0
借入金利息	60
その他の支払利息	106
役員取引等費用	1,020
その他業務費用	5,053
営業経費	11,685
その他経費	3,242
貸倒引当金繰入額	3,160
その他経費	82
経常利益	4,801
特別利益	585
動産不動産処分益	0
債却債権取立益	585
特別損失	125
動産不動産処分損失	14
減損損失	111
税金等調整前当期純利益	5,262
法人税、住民税及び事業税	2,569
法人税等調整額	687
少数株主利益	232
当期純利益	1,771

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結剰余金計算書

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで) (単位：百万円)

科目	金額
<b>資本剰余金の部</b>	
資本剰余金期首残高	5,432
資本剰余金増加高	0
自己株式処分差益	0
資本剰余金減少高	-
資本剰余金期末残高	5,432
<b>利益剰余金の部</b>	
利益剰余金期首残高	38,156
利益剰余金増加高	1,794
当期純利益	1,771
土地再評価差額金取崩額	22
利益剰余金減少高	445
配当金	424
役員賞与	21
利益剰余金期末残高	39,504

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 第95期末 貸借対照表

(平成18年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
現金預け金	11,322	預当座預金	849,463
現金	9,192	当座預金	38,778
預け金	2,129	普通預金	237,164
コーポレート	15,676	貯蓄預金	43,496
買入金銭債権	454	通知預金	6,159
商品有価証券	311	定期預金	504,375
商品国債	309	定期積金	9,134
商品地方債	1	その他の預金	10,355
金銭の信託	300	譲渡性預金	7,750
有価証券	257,489	コーポレマネー	24,016
国債	70,141	債券貸借取引受入担保金	10,109
地方債	27,371	外国為替	1
社債	55,705	売渡外国為替	1
株	44,816	未払外国為替	0
その他の証券	59,453	その他の負債	6,618
貸出金	670,416	未決済為替借	169
割引手形	29,324	未払法人税等	1,417
手形貸付	75,761	未払費用	861
証書貸付	485,925	前受収益	554
当座貸越	79,405	従業員預り金	298
外国為替	1,978	給付補てん備金	2
外国他店預替	717	金融派生商品	56
買入外国為替	264	繰延ヘッジ利益	2
取立外国為替	996	その他の負債	3,255
その他の資産	10,771	退職給付引当金	3,660
未決済為替	75	再評価に係る繰延税金負債	1,690
前払費用	25	支払承諾	8,357
未収収益	1,500	負債の部合計	911,668
金融派生商品	58	<b>資本の部</b>	
繰延ヘッジ損失	2	資本金	8,000
その他の資産	9,109	資本剰余金	5,430
不動産	10,399	資本準備金	5,430
土地建物	9,850	利益剰余金	39,349
保証金	548	利益準備金	1,991
繰延税金資産	275	任意積立金	31,360
支払承諾見返	8,357	当期末処分利益	5,998
貸倒引当金	△11,127	当期純利益	1,750
		土地再評価差額金	2,077
		株式等評価差額金	10,250
		自己株式	△149
		資本の部合計	64,957
資産の部合計	976,626	負債及び資本の部合計	976,626

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 第95期 利益処分計算書

(単位：円)

科目	金額
当期末処分利益	5,998,076,273
利益処分額	2,783,604,432
利益準備金	47,267,406
配当金(1株につき3円50銭)	212,101,026
役員賞与	24,236,000
取締役賞与	17,816,000
監査役賞与	6,420,000
任意積立金	2,500,000,000
別途積立金	2,500,000,000
次期繰越利益	3,214,471,841

## 第95期 損益計算書

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで) (単位：百万円)

科目	金額
経常収益	22,087
資金運用収益	18,230
貸出金利	12,644
有価証券利息配当	5,411
コーポレート	13
預け金	0
その他の受入利息	161
役員取引等	2,376
受入為替手数料	866
その他の役員	1,509
その他業務	1,047
外国為替	233
国債等債券売却	747
国債等債券償還	5
金融派生商品	21
その他の業務	40
その他経常	432
株式等売却	146
金銭の信託運用	0
その他の経常	285
経常費用	17,652
資金調達費用	852
預金	612
譲渡性預金	10
コーポレマネー	122
債券貸借取引	0
売渡手形	0
金利スワップ	17
その他の支払	89
役員取引等	1,039
支払為替手数料	240
その他の役員	798
その他業務	992
商品有価証券	0
国債等債券売却	965
国債等債券償還	6
その他の業務	19
営業経費	11,550
その他経常	3,217
貸倒引当金繰入	3,177
貸出金	1
株式等売却	1
株式等償却	4
その他の経常	31
経常利益	4,434
特別利益	585
不動産処分	0
債権取立	585
特別損失	125
不動産処分	14
減損	111
税引前当期純	4,895
法人税、住民税及び事業	2,480
法人税等調整	664
当期純	1,750
前期繰越	4,479
土地再評価差額金	22
中間配当	212
利益準備金	42
当期末処分	5,998

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



# ファースト・バンク店舗のご案内 (平成18年5月31日現在)

## 富山県内 (56カ店)

★本店	富山市総曲輪二丁目2番8号	(076) 424-1211
本店営業部総曲輪出張所	同 総曲輪一丁目7番15号	(076) 442-8012
★ニューセンター支店	同 牛島新町5番5号	(076) 444-8111
★富山南センター支店	同 掛尾町626番地	ファーストバンク グリーンビル2F (076) 424-1470
グリーンビル・ ローンセンター支店	同 掛尾町626番地	ファーストバンク グリーンビル1F (076) 422-6100
●富山駅前支店	同 新富町一丁目4番7号	(076) 441-4466
●堤町支店	同 堤町通り二丁目2番15号	(076) 423-7691
●石金支店	同 石金三丁目1番1号	(076) 424-1786
●五福支店	同 五福字才勝1922番地の8	(076) 431-8086
●小泉支店	同 西中野本町12番10号	(076) 423-8381
●下新支店	同 千代田町9番14号	(076) 432-3651
●東町支店	同 東町一丁目5番1号	(076) 421-2311
岩瀬支店	同 東岩瀬町295番地	(076) 437-7124
水橋支店	同 水橋町25番地の4	(076) 478-2141
堀支店	同 下堀54番地	(076) 423-2230
問屋町支店	同 問屋町二丁目11番38号	(076) 451-1177
荏原支店	同 向新庄200番27	(076) 423-8540
月岡支店	同 開発201番地	(076) 429-5511
根塚町支店	同 新根塚町一丁目5番25号	(076) 491-2233
針原支店	同 金泉寺247番地	(076) 451-2111
呉羽支店	同 呉羽町7162番地の5	(076) 436-1122
●山室支店	同 山室187番地の9	(076) 492-1710
北の森支店	同 森三丁目2番11号	(076) 437-5000
鶴坂支店	同 婦中町分田88番地の4	(076) 422-1170
●婦中支店	同 婦中町速星818番地	(076) 466-2121
●八尾支店	同 八尾町東町2231番地	(076) 454-3141
大沢野支店	同 上大久保1899番地	(076) 467-2336
上滝支店	同 上滝288番地	(076) 483-1311
立山支店	中新川郡立山町五百石16番地の1	(076) 463-1235
上市支店	同 上市町三日市47番地の15	(076) 473-1230
●滑川支店	滑川市下小泉町75番地の4	(076) 475-3101
★魚津支店	魚津市中央通り一丁目7番9号	(0765) 24-1234
魚津駅前支店	同 上村木一丁目1番25号	(0765) 24-4433
●黒部支店	黒部市牧野83番地の1	(0765) 52-1230
●宇奈月支店	同 宇奈月温泉243番地	(0765) 62-1019
入善支店	下新川郡入善町入膳5430番地	(0765) 72-1188

泊支店	下新川郡朝日町平柳688番地	(0765) 82-1155
★高岡支店	高岡市丸の内1番12号	(0766) 21-3130
★イオンFB支店	同 下伏間江383番地	(0766) 27-1231
●高岡中央支店	同 木舟町80番地1	(0766) 22-5678
●昭和町支店	同 昭和町三丁目3番20号	(0766) 23-7337
清水支店	同 清水町二丁目3番24号	(0766) 24-2526
中川支店	同 東中川町1番34号	(0766) 24-6363
大野支店	同 大野158番地の1	(0766) 23-2353
福岡支店	同 福岡町下叢385番地	(0766) 64-5800
太閤山支店	射水市中太閤山一丁目1番地6	(0766) 56-3688
大門支店	同 大門104番地の3	(0766) 52-5507
●新湊支店	同 中新湊13番5号	(0766) 84-4124
水見支店	水見市丸の内10番24号	(0766) 74-1600
水見南支店	同 柳田2081番地の4	(0766) 91-1200
●砺波支店	砺波市本町2番27号	(0763) 32-3363
●福野支店	南砺市福野1320番地1	(0763) 22-2151
城端支店	同 城端158番地1	(0763) 62-1204
井波支店	同 山見1739番地17	(0763) 82-1525
福光支店	同 福光7367番地	(0763) 52-1211
●石動支店	小矢部市本町2番4号	(0766) 67-0581

## 富山県外 (13カ店)

★金沢支店	金沢市尾山町1番8号	(076) 221-6131
泉支店	同 泉二丁目6番7号	(076) 242-1881
東大通支店	同 元町二丁目15番15号	(076) 251-5911
七尾支店	七尾市大手町59番地	(0767) 52-3600
●輪島支店	輪島市河井町2部95番地	(0768) 22-1114
糸魚川支店	糸魚川市本町9番9号	(025) 552-1711
●直江津支店	上越市五智一丁目1番27号	(025) 543-3771
●長岡支店	長岡市城内町二丁目2番地1	(0258) 33-4810
●神岡支店	飛騨市神岡町船津1201番地の3	(0578) 2-1031
●高山支店	高山市本町三丁目58番地	(0577) 32-2820
★東京支店	東京都千代田区神田岩本町2番地	(03) 3256-6311
名古屋支店	名古屋市中区大須三丁目14番62号	(052) 261-5871
★大阪支店	大阪市西区靉本町一丁目9番15号	(06) 6443-4651

★印…外国為替取扱店

●印…外貨両替取扱店

# 店舗外キャッシュサービスコーナーのご案内 (80カ所)(平成18年5月31日現在)

## 富山市

- 富山第一銀行総合事務センター
- アーバンプレイス
- 富山赤十字病院
- ★ J R 富山駅
- ★ マリエとやま
- ★ 高志会館
- 富山県庁
- 富山市役所
- ★ ショッピングシティアピア
- 富山市民プラザ
- 北日本スクエア
- ★ 総曲輪通り
- 富山市民病院
- ★ 越州村
- ★ アビタ富山店
- ★ 本郷町
- ★ グリーンモール山室
- ★ 大阪屋北新町店
- 富山県立中央病院
- ★ マックスバリュー上飯野店
- ★ アビタ富山東店
- 富山機械工業センター
- 富山県高志リハビリテーション病院
- 済生会富山病院
- ★ 北の森ショッピングタウン
- ★ 水橋ミュージズ
- ★ サンショウ石坂店

- 富山企業団地
- 富山大学(学生会館内)
- 富山大学附属病院
- ★ ファボーレ
- 婦中鉄工業団地
- ★ 笹倉
- ★ J R 八尾駅前
- 富山市大沢野総合行政センター前
- ★ グリーンバレー大沢野
- 富山国際大学

## 立山町

- 立山町役場前

- ★ 立山ナビオ前

## 上市町

- ★ マックスバリュー上市店

## 滑川市

- 滑川市役所前

- ★ エール滑川

- ★ バスタ前

- ★ プラント3 滑川店

## 魚津市

- 魚津市役所前

- ★ アップルヒル

- ★ アビタ魚津店

## 黒部市

- 黒部市役所

- ★ パルフェ黒部店前

- ★ エーシーシー黒部店前

- ★ メルシー黒部
- ★ アビタ黒部店
- 黒部市役所宇奈月庁舎前

## 朝日町

- ★ 荒川

## 入善町

- 入善町役場前

- ★ 入善コスモ21

## 高岡市

- ★ J R 高岡駅

- ★ 高岡サティ

- ★ スーパーヒラキストア大坪店前

- 高岡市民病院

- ★ ジャスコ高岡店

- ★ イオン高岡

## 射水市

- 射水市役所小杉庁舎前

- ★ 太閤山バスコ

- ★ アル・プラザ小杉

- ★ いみずのショッピングタウン

- ★ アプリオ

- ★ イータウン

- 射水市役所大門庁舎前

- 三精工業前

- ★ 西新湊

## 氷見市

- ハッピータウン氷見

- ★ 氷見ブラファ

## 砺波市

- ★ アビタ砺波店
- ★ ジャスコ砺波店
- ★ サンコー砺波中央店

## 南砺市

- ★ 福野ア・ミュー

- 南砺中央病院

## 小矢部市

- ★ ユニー小矢部店

## 飛騨市

- ★ パロー神岡店

- …土曜日稼働店

- …土曜日・日曜日稼働店

- ★…祝日稼働店

その他、北國銀行、福井銀行の全てのATMでの入出金が無料で利用できます。(FITネットATM)  
但し、北國銀行のコンビニATMを除きます。  
平日の18時以降、土・日・祝日の休日時間  
外手数料は有料となります。



<http://www.first-bank.co.jp>



古紙配合率100%再生紙と大豆油インキを使用し、  
環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。

